

静岡県藤枝市は高齢者や障害者向けに仕事を受注する体制を整える。専門の営業担当者を配置し、企業や自治体から仕事を請け負う営業活動を展開。受注した仕事をシルバー人材センターなどに割り振る。障害者向けに職場以外で働けるテレワーク施設を設ける企業も支援。就業意欲のある高齢者や障害者に仕事を提供することにも、人手不足の緩和にもつなげる。

高齢・障害者向け仕事受注

藤枝市、就労後押し

市は2019年度予算案に営業担当者の配置と「企業支援施設(エフドア)」障害者向けテレワーク施設の支援を新規事業として盛り込む。予算額は両事業合計で1000万円強になる見通しだ。



- 企業支援施設に営業担当
- テレワーク関連事業補助



エフドアが入るJR藤枝駅前の商業施設(藤枝市)

藤枝市の就労支援策が充実してきた	
事業名	概要
エフドア	起業などを支援。2019年度から仕事を受注し、高齢者らに割り振る
藤枝くらシェア	藤枝版クラウドソーシングサイト。主婦らが隙間時間に仕事を受注

市は2019年度予算案に営業担当者の配置と「企業支援施設(エフドア)」障害者向けテレワーク施設の支援を新規事業として盛り込む。予算額は両事業合計で1000万円強になる見通しだ。

障害者向けテレワーク施設	障害者が働きやすい場所に施設を設ける企業に費用の一部を補助
シルバー人材センター	高齢者の就労を支援
ママスクエア	託児機能付きオフィススペース。育児ママも働きやすく

市は2019年度予算案に営業担当者の配置と「企業支援施設(エフドア)」障害者向けテレワーク施設の支援を新規事業として盛り込む。予算額は両事業合計で1000万円強になる見通しだ。

スマホ使い行き先予約

静岡鉄道は7日、静岡市内でタクシースタンドの実証実験を始める。2月にJR東静岡駅周辺と清水港周辺の2カ所で運行し、スマートフォン(スマホ)で予約できる。タクシースタンドの効率化のためのノウハウを蓄積する。

静岡市内2カ所で運行

アプリを通じ、利用者が行き先を予約する。静鉄系のカード会員が対象で、料金は無料。清水港周辺では13日に、クルーズ船の外国人乗客を対象に実施する。料金は1000円。

静鉄、相乗りタクシー実験

IT(情報技術)を活用し、交通機関の運営を効率化する動きは全国的に広がっている。静鉄もこうしたノウハウの蓄積を急ぐ。

ウイスキー蒸留所増強 キリン、80億円投資 原酒の安定供給図る

キリンビールは唯一のウイスキー製造拠点である富士御殿場蒸留所(静岡県静岡市)の生産設備を増強する。様々なモルトウイスキーの原酒を製造するための小型発酵タンク、蒸留器をそれぞれ4基導入。熟成庫の刷新と大型化を進め、保管能力を2割増強する。投資額は約80億円。2021年6月の稼働を予定する。

同社が蒸留所を増強するのは1973年に完成して以来初めて。ハイボールドに、新たな商品開発を進める方針だ。

藤枝市はインターネットを通じて仕事を受注できるクラウドソーシングサイトも開設。シルバー人材センターの設置や育児ママ向けの託児機能付「ママスクエア」の誘致なども手掛け、就労希望者との仕事を結び付ける仕組み作りにも力を入れている。19年度の新規事業は同市の就業支援策の「総仕上げ」の意味合いがある。県内では有効求人倍率が高止まりしており、企業などの人手不足を緩和するためにも就業意欲のある高齢者や障害者らの活用が急務になっている。

